



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第17回「卒業後の活動イメージ発表」

日 時：令和4年2月17日（木） 9：30～12：30

会 場：四季の香ローズガーデン実習地花壇、光が丘区民ホール

今回の講座の流れ

始めにガーデンのお手入れを行った後、実際の植物の生長を見ながら微気候がガーデンに与える影響について学習しました。そして、講座卒業後の活動イメージを発表しました。



各プログラムの様子



お手入れの様子

ガーデンのお手入れ

前回と同様、寒さの残る気候でした。しかし、立春を越えて今後1か月で気温が上がり、植物の生長が旺盛になることが見込まれました。そのため、この日は花ガラ摘みや多年草の切り戻しなど、しっかりとお手入れを行いました。

微気候について

微気候がガーデンに与える影響について、実習地花壇の様子や実例をふまえて学びました。一見同じように見える花壇でも、日当たりの違いで植物の大きさが異なることが分かりました。

コミュニティ・ガーデナーとしての活動イメージや夢についての発表

受講生のみなさんが卒業後に活動する内容や、講座で学んだことをどう活かして行くかを発表しました。お互いの活動情報を共有することで、活動に対する意識を深めました。



講義の様子



発表の様子

「コミュニティ・ガーデン」とは？

コミュニティ・ガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティ・ガーデンです。

今回の キーワード

「小さな環境の違い ・・・微気候」

(NPO Green Works 三浦)

微気候とは、地面近くの気層の気候。地表面の状態や周囲の植物群落などの影響を受けて、細かい気候の差が生じることで、同じ花壇の中でも、庭の場所が50cm違っただけで、環境が変わることがあります。日当たりや周りにある樹木などの環境で、栽培環境に違いが出るのです。

時間による違い、季節による違いも考慮して、観察してみてください。多年草類などは、その結果、移植することもあるかもしれません。環境に合わせて、移植することも、園芸作業の楽しみの一つです。

今月のお花紹介

ローズマリー



11月～5月に花をつける常緑低木です。樹形はほふく性と立ち性があり、花色や葉色の種類も豊富です。料理やハーブティー、ポプリなどに幅広く活用できます。